

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

出雲國五十三種○略中百部根二斗、

黃精葉鉤吻

〔出雲風土記意字郡〕凡諸山野所在草木○略中百部根、

〔重修本草綱目啓蒙十三下〕鉤吻○略中

蔓生、黃精葉、芹葉等數種アリ○略中黃精葉ノ鉤吻ハ草木二種アリ、木本ノ者ハナベワリ、加一名ヒトヨロビ、ヒトコロバシ能ドクノキ、上子デコロシ、越サルコロシ、國ムマヲドロカシ、ムマアラヒウツギ、佐カナウツギ、北ミソヤカズ、上ブス木曾マシツペイ、上野カワラウツギ、水トリヲドロカシ、市郎兵衛ゴロシ、東北國ニ多シ、移シ栽ユレバ繁茂シ易シ、高サ五六尺叢生ス、葉兩對シテ龍膽葉ニ似テ尖リ長シ、三縱道アリ、夏ノ初花穗ヲナス紅色、長サ六七寸枝アリ、實ハ圓ニ扁ク二三分許、熟シテ色赤シ、誤テ食フ時ハ死ス、葉ヲ採リ飯ニ雜ヘ、鼠ニ飼フモ亦死ス、故ニ子ジコロシト云、草本ノモノモ亦ナベワリト呼ズ、中國及河州金剛山勢州鈴鹿山ニ產ス、苗黃精ニ似タリ、葉ハ萎蕤ニ似テ光澤アリ、莖ハ赤クシテ粉ノフキタルガ如シ、花ハ酸漿ホウヅキノ花ノ如シ、人誤テ其葉ヲ嘗ムル時ハ舌破裂ス、故ニナベワリト名ク、○略中ドモ未ダ其功効ヲ知ラズ、

〔傍庸前篇〕毒物

荏原郡石川村の邊の道路のかたへの草村に、目なれぬ草花ありしを來かりたる農夫にとひければ、毒物なりとこたへていにけり、こゝろえぬ事いふをのこ哉、草にも木にも大毒小毒